

育成会だより

2022年度 第3号

発行 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町7番9号

TEL: 0796-24-3660

FAX: 0796-34-6433

[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] <http://www.toyoteiku.com/>

編集 本部事務局 2022年12月29日

2022 フェスタはばたけ 13th

一年で一番のイベント、フェスタはばたけを12月17日(土)にAity7F豊岡市民プラザで開催しました。コロナ禍となり内部開催が続いていましたが、3年ぶりに一般公開での開催となりました。

この日の為に利用者さんと職員が一丸となって演技の練習を行

い、入念な準備を重ね、晴れて皆様の前で素晴らしいパフォーマンスを披露することが出来ました。心に響く和太鼓演奏、組体操、ダンス、手話歌など、どれも日頃の努力をほうふつとさせる出来栄でした。

今年^{サンソン}は芸術文化観光専門職大学の学生さんで結成されたSANSONさんにご出演いただき、観客も巻き込んだ漫才の体感型劇場で盛り上がりました。

また、スタッフボランティアを募集したところ、市内の各高校よりたくさんの生徒さんがお手伝いに集まって下さいました。会場準備に始まり、縁日、キャンドル作り体験、お茶会など多彩な催し物の受付や接客、最後の片付け、荷物搬出まで、大変積極的に動いて下さいました。たくさんの親子連れなどのお客様にご来場いただき、その方々からもスタッフボランティアの生徒さんに親切にして

いただいたとのお礼の声が届きました。本当にありがとうございました。

そして、今回も多くの企業様、個人様よりご協賛、ご後援頂き、また、地域の方々のご支援、ご協力に支えられ、フェスタはばたけを開催することができましたこと、心より感謝申し上げます。

障害をもつ人、もたない人、共に支え合って暮らしていける地域づくりを目指して、これからも活動して参ります。



生活介護 ほっと より

LAULAU では正面入り口と2階活動室に、秋の気配が感じられる11月の壁面アートができあがりました。絵具やスタンプ、手形を上手に使い、色とりどりのカエデ・どんぐり・きのこを作り、それらを思いのままに貼り付けた、枯れ葉舞う大きくきれいな樹を作りました。「いえーい！」完成後はみんなで拍手をして、喜びを体全体で表されていました。

また、はばたけ旅行に参加されなかった方々で、秋の城崎散策に出かけました。とても良い天気で、笑顔がいっぱい見られました。

そして、12月開催のフェスタ出演に向けて、利用者さん達と練習の日々。初日は全く動けなかった利用者さんも、次第に「練習やろー！」と声をかけて下さるようになりました。音楽に合わせてのダンス、組体操の練習を日々頑張られました。職員も熱心に打合せ、衣装・小道具にも趣向を凝らし、共に練習に励みま
<H>



就労継続支援B型 すいーつより

12月1日より菓子製造を行っております部署の名称(屋号)を「HABATAKE Sweets Café」より「pono (ポノ)」へと変更致しました。飲食店・移動販売は従来の「HABATAKE Sweets Café」として営業致します。

「pono (ポノ)」とはハワイ語で“本来あるべき状態”のこと。その言葉通り、美味しく健やかに身体が整っていく、そんな想いを込めて商品を提供していきたいと思っております。

また、屋号変更と同時に、商品の開発・リニューアルも順次進めています。利用者さんは今までとは違う材料や手順での作業となり、最初は戸惑いもあったようです。しかし、徐々に作業にも慣れてこられ、良いものを届けたいとの熱意をもって製造に取り組まれています。

より体に優しく美味しい商品をお届けするために、利用者さん・職員一丸となって邁進して参ります。

<K>



グループホームOHANA より



はるぞらからあお-2へ、利用者さんが1名転居されました。あお-2は大変賑やかな雰囲気になっています。皆でリビングに集まり、テレビを観ながら談笑したり、時にはボール遊びをして楽しんだり、職員も元気を頂いております。

その利用者さんは、しっかりと挨拶ができ、感謝の気持ちを言葉で表すことのできる方です。素晴らしい事だと感心しています。私たちも見習って、利用者の皆さんと挨拶を交わし、感謝の気持ちを伝え合いながら支援していきたいと考えています。

コロナ禍にあって不安な日々が続いていますが、アットホームなOHANA生活を更に充実させ、笑顔の絶えない暖かなホームになるよう、職員共々努力していく所存です。 <H>

生活介護 じゃんぷ より

10月、秋を感じる季節に、じゃんぷの活動として植村直己公園や出石城に出かけました。そこでは、どんぐり拾いをしたり、いちょうの葉や紅葉を見たりと秋を満喫し、利用者さんからは「お出かけができてうれしい。」「紅葉がきれいで感動した。」との声が上がりました。

日々の作業では、すい一つで製造している焼き菓子の配達等を行っています。利用者さんが取り組みやすいように改善点を話し合い、支援させていただいています。



<O>

障害児通所支援事業 つくし より

ご近所の理容室コロンさんとハラサイクルさんのご協力で、ハロウィンを行いました。つくしの子どもさんたちは、かぼちゃ色のTシャツに、手作りの魔女帽子をかぶり、「トリック

オアトリート！」と訪問し、お菓子を頂きました。初めての試みで不安でしたが、どちらのご主人も大変快く引き受けて下さり、当日も温かく迎え入れて下さいました。そのお陰で、出発時は少し表情の硬かった子どもさんも、みんな笑顔でつくしに戻って来ました。

接客中にも関わらず、笑顔で気さくに接して下さったお二人のご主人に大変感謝しています。その一週間後、コロンさんの前を通った際、子どもさんがお店のご主人に向かって勢いよく手を上げました。(あいさつ?)と

つさに職員も店内を見ると、ご主人も同じように手を高く上げて応えて下さっていました。何とも微笑ましい光景でした。地域の方々とふれあう機会を少しずつでもサポートし、みんなが笑顔で安心して暮らしていくきっかけになれば嬉しいです。 <K>



ヘルパーステーションはあと より

はあとでは居宅での身体介護、家事援助等の支援、移動に関する支援を行っています。移動支援利用時の一コマを紹介いたします。



利用者さんのご希望で、久美浜の如意寺へお出かけしました。雄大な自然に囲まれ、空気もおいしいので、とても落ち着く空間です。コロナ終息や健康への願いを込めてお参りします。

お寺巡りの醍醐味であるおみくじを引かれたり、庭園散策を楽しまれました。「健康に過ごせるようにと願いを込めて参った。」とお話しながらの帰り道でした。

<A>



令和4年度はばたけ旅行

今年も毎年恒例のはばたけ旅行を実施しました。



新型コロナウイルスの影響はまだありますが、今年も全国旅割等も実施され、全国的にも旅行解禁ということもあり、話題の「神戸ネスタリゾート」のコース、鳥取の有名旅館「望湖楼」泊のコース、また日帰り鳥取の「燕趙園・砂の美術館」のコースに分かれて行ってきました。

天候にも恵まれ、各職員はもとより、保護者・関係者の皆様のご協力のおかげで、無事旅行を終える

ことができ、一安心しております。また、利用者さん達より、「楽しめた。」「また行きたい。」と嬉しい報告を多数いただいています。

今後のはばたけ旅行も、新しい事を取り入れるチャレンジ精神を忘れず、より利用者さんに楽しんでいただける企画を考えていきたいと思っております。

<S>



鳥取砂丘で
ダッシュ!



編集後記

コロナ対策の制約は続きつつも、できることが増えてきました。みなさんがより良い毎日を送れますように願いを込めて。寒い季節も笑顔で乗り切りたいものです。

<W>